

令和3年12月15日（水）

19:00～21:00

島田市役所会議棟C会議室

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、萩原淑恵委員、青山朝美委員、熊谷紀男委員、八木 博委員、鈴木美香委員、中村吉哉委員、松本敬人委員、西田正鋭委員

社会教育課：小林社会教育課長、杉本青少年係長、寺岡書記、伊藤課長補佐兼社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：伊藤）

2 議長あいさつ（田代議長）

- ・コロナがどうなるか心配であり、何とか終息してほしいし、我々の活動を助けてほしいという気持ちである。
- ・県の協議会事務局が入居している建物が老朽化で建替えるとし、建替え後は入居できないようで、新たな入居先を探す必要がある。課題も見受けられるので、事業への影響もあるかもしれない。来月、臨時理事会で協議されるので改めて報告する。
- ・提言書の普及・啓発については、園長会、校長会に続き、教頭会にもお願いに行ってきた。ただ、コロナの影響で保護者が一同に会する機会は無く、依頼していた私の地元の初倉小も今年度中は難しいと思われる。できれば来年度の事業の計画のなかに入れてもらえるようお願いしてきたが、皆さんの繋がりの中でもぜひ働きかけをお願いしたい。
- ・主任児童委員の会長さんとお話する機会があり、提言書の普及についてご協力をお願いした。もしかしたら近々会合で説明することができるかもしれない。主任児童委員もアンバサダーになってもらえるのではないかと思うので、都合が付けば私が出かけて説明してきたいと思っている。
- ・新しく私の近所に引っ越してきたお母さんが、地域との交わりがないということから、青山委員が活動している「みんなの駄菓子屋はつくらんど」にボランティアとして参加したことで子育てのことなど情報交換する仲間ができて良かったという話しである。これが地域社会教育活動の一環だと感動するとともに、青山委員の活動が貴重なことであると改めて感じた。
- ・今月、初倉小と初倉中の学校運営協議会に参加した。そこで感じたことは1年前と授業の様子が変わったことである。それは、一人1台タブレットを使って授業を行っており、学習発表もパワーポイントで自ら資料を作成し、プロジェクターを使って、大人顔負けのプレゼンを行っていることに感動した。

### 3 課長あいさつ（小林課長）

- ・ 前回の会議は緊急事態宣言により 1 か月延期となったため、ご都合の悪い委員の方も多くなり、少ない人数での開催となったことは残念でしたが、本日は多くの方に参加していただき有難く思う。
- ・ 早いもので 12 月に入り成人式も近づいてきた。後ほど担当から説明させていただくが、オミクロンのこともあるが、今の状態が続けば何とか感染防止対策を行い、実施したいと考えているので、ご協力をお願いしたい。議題も 2 件あるが、本日も活発な議論をお願いする。

### 4 報 告

#### (1) 島田市成人式について

杉本青少年係長及び寺岡書記より説明を行った。

- ・ 実施概要、ボランティアとして社会教育委員の皆さんに行っていただく内容（受付係）について

#### □質疑・意見

Q どの学区が午前なのか午後なのか教えてほしい。

A 午前の部が島一中学区、島二中学区、旧北中学区及び附属中で、午後の部が六合中学区、初倉中学区、金谷中学区、川根中学区になる。

Q 例年の会場レイアウト（受付会場）と違うようだが。

A 新成人が隅の受付レーンに行かないので、均等に行ってもらえるように中央に新成人のレーンを配置した。

Q 今まで職員が各レーンに付かなかったと思うが。

A 今回は受付票のチェックがあるので職員で行うため配置した。

Q 社会教育委員以外の受付のボランティアは。

A ボーイスカウトとガールスカウトです。

Q 中学生のボランティアは止めた？

A 止めています。

Q 半日ずつでも対応できるということですか？

A いいです。

Q 委員の参加の可否の調査結果をみて、改めて連絡をもらえるということですか？

A 参加状況を基に配置を決めて、改めてご案内する。

- ・ 昨年は年末に開催方法が変更になったため、昨年以降、委員になられた方は経験をされていないので想像がつかないかもしれないが、当日会場で詳しい説明をさせていただく。（小林課長）

#### (2) 令和 3 年度社会教育関係者研修会について

伊藤から、開催日時、会場等と、コロナ感染拡大防止のため、各市町 3 名までの制限があることを説明し、参加希望を募った。

- ・ 田代議長、萩原副議長、伊藤の 3 名が参加することになった。

## 5 議題

### (1) 報告書「家庭教育の在り方」プレゼン模範説明（執筆者の想いの確認）

報告書の今後の広報、周知活動を行っていくにあたり、今回は、中学生・高校生編の主たる執筆者である松本委員に模範説明をしてもらい、執筆者の思いなどを確認した。

#### ○協議

松本委員が模範説明を行った。

#### □質疑・意見

- ・配布資料（資料1-2）には、効果的な応援団の言葉の例として、「話しかけるきっかけとなる」とか「子どもの気持ちに共感する」とあるが、パワポ資料（資料1-1）に載せなくてもいい？

→入れたほうが良ければいれる。似たような言葉が繰り返し出ていたので。確かに、「応援団として子どもに接する」だけだと弱いかもしれない。後ろのスライドで、「応援団としての3つの心がけ」もあったのでいいかなと思った。重複しても入れたほうがいいかもしれない。

田代議長作成のパワポ資料を基に発表用に簡略化した。その理由として私だけでなく、委員の皆さんどなたでも発表する機会があると思うので、そういうときのために減らしたほうが、言葉面を追って説明するだけでなく、それぞれの委員が想っていることを入れながら説明した方が聴いている方に伝わるのではと思った。一方、削りにくかったことも事実。

中学生・高校生どちらも「心を離さない」のところは、上のほうの記載は“状態”のことで、四角で囲ったところは、このようにしたらどうかとポイントになるような、散りばめられていたことを整理して記載した。（以上、松本委員）

- ・中学生、高校生のところをコンパクトにまとめられたのは本当に大変だったと思う。ありがとうございました。

実際に聞いてもらう人達はパワポ資料を手にしなくて配布資料をみるということでもいいか。

→今はそういう考え方。皆さんに配布するのは配布資料。（議長）

- ・パワポ資料はできるだけ文字を少なく見やすいようにしてくれてあるが、画面のパワポ資料の並びの部分が配布資料を見ながらだと、どこをみればいいのか判りづらい、並び順が違うところがあった。それでいいか。

→どのような順番でスライドが流れるのか判らない部分があり、先ほど説明しながら判ったりした。まずは画面を見てもらい、資料は後で渡すのがいいのかなと思う。ポイントを聞いてもらえれば。後で資料をじっくり読んでほしいと最後に話したらいい。資料と画面を両方見ると配布資料の中で探している間に、聞き逃してしまうといったことが私も実際にあるので、聞いてもらえるようにしたらいいと思う。（松本委員）

- ・最後の処方箋2のところ、パワポ資料と配布資料を見比べた時に配布資料のほうが字数が少ないような気がするが。

→自分が言いたいことを追加させてもらった。（松本委員）

- ・見てもらう観点からすると字は少なめで説明する方の思いがうまく伝わるよ

うにするのであれば、入れ替えた方がいいのでは。

→お任せする、(松本委員)

・処方箋5のところもそうですが、より丁寧かなと思う。それでは想いが伝わらなければこのままでも大丈夫。

→私と事務局で整合性を取らせてもらおう。(田代議長)

・全体的にも整合性を取らなければならないところもあると思うので、年明けにもう1回見直しをしたい。(田代議長)

・コラムの活かし方も検討が必要だと思う。コラムも読めば読むほど味がある。

→配布資料に入れていけばいいと思う。配布資料の説明する時間が取れるようならコラムなどを説明できるし、いただける説明する時間に依じて変えていけばいいのでは。(田代議長)

・先ほどの松本委員の説明時間はどのくらいだった？

→処方箋前までの時間が20分程度、全体で30分ちょっと。(事務局)

→中・高校生を続けてやったので長くなったが、中学生+処方箋、高校生+処方箋と別々なら、それぞれ20分程度でできるのでは。(松本委員)

(2) 令和4年度中部地区社会教育委員連絡協議会合同研修会について

田代議長、伊藤から資料を基に説明した。

○来年度は島田市が当番市である。3月の中部地区の役員会までに開催日当の目途をつけて報告したい。開催日は金曜日が多い、開催会場や講演内容を今後決めていかなければならない。

・例年の開催時期である秋口の金曜日はどうか。

→コロナが治まるか判らないが、今年の状況、緊急事態宣言のことを考えると、10月の後半に設定したらどうか。

【決定事項】10月21日(金)と10月28日(金)を軸に考えていく。

・講師は大学の先生が多い印象だが、話題になっているところだと春風亭昇太さんが応援してくれている諏訪原城と茶の都ミュージアムの見学をしながら博物館の学芸員に講師をお願いしたらという案を事務局と考えた。情報交換会も茶の都でできるだろう。

・諏訪原城整備委員会の先生方にもお願いすることも可能。

・見学等だと天気が影響してくるのでは。

→雨天の場合を用意しておかなければならない。

・田代議長のあいさつにあった県事務局の課題のこともあるので、予算的なことも頭に入れながら検討していかなければならない。

・川越遺跡の整備について案内したらどうか。大善寺の和尚さんが突いている鐘は今日川越があるよという合図になっていたという話しも聞いており、そういった史実を皆さんに周知していくこともいいのでは。

・川越遺跡の話しは博物館でできるか

→博物館の学芸員は対応できると思う。

・川越遺跡を取り上げるなら、ぜひ大井川の瀬替えの話しもやってもらえたら。大井川の流れを大きく代えて今の島田市ができたことはあまり知られて

いないと思うので。

- ・博物館に講堂はあるか。そこが使えるようなら川越遺跡のことはそこを利用してできるのでは。

→小さい部屋しかないのでは。

→川越遺跡そのものを利用してお話しをしたらどうか。催し物もやっている。

→研修会は例年 100 人程度参加する。

- ・家庭教育のことをやっていたときに、外国ではどうかなど、興味をもった。市内に住んでいる外国人、ささまのシャリーさんとか。何かお話ししてくれるかなど。

→国連関係の仕事をされている。

- ・今、皆さんから出た意見を事務局で勘案して、次回会議で皆さんに協議してもらい、中部地区の役員会に報告していく方向でいきたいと思う。

## 5 その他

- ・次回（第 5 回）の開催日について、おって事務局より日程調整の連絡をするとして了承を得た。

## 6 閉会（萩原副議長）

- ・次回 1 月後半ということだが、令和 4 年度の中部地区の研修会も含めて、安心して皆さんが集まって笑顔でお話しできる状況になっていればいいなと思う。健康に気をつけて良いお年をお迎えください。